

【豊洲市場 用地取得の経緯】

時 期	内 容
<1991><1996> 平成3年～8年	築地市場での再整備に着手 → 工事は難航
<1998> 平成10年4月	築地市場の業界団体から臨海部への移転について検討の要請 → 東京都 移転候補地調査
9月	東京ガス等と接触
<1999> 平成11年7月	築地市場再整備推進協議会(東京都と業界との協議機関)において 「移転整備へと方向転換すべき」と意見集約
11月	福永副知事から東京ガスに対して、候補地として協議の申し入れ
<2000> 平成12年10月	浜渦副知事、東京ガスを訪問(就任挨拶、移転受入のお願い)
<2001> 平成13年2月	覚書「豊洲への移転を前提に具体的な協議に入る合意」
4月	東京都卸売市場審議会 答申「豊洲を移転候補地として検討」
7月	「豊洲に関する東京都と東京ガスとの基本合意」 ・東京ガスは豊洲移転に協力する ・全地権者との最終合意に向け東京都は協議を進める
12月	第7次卸売市場整備計画で、豊洲への移転を正式決定
<2002> 平成14年7月	豊洲の地権者と「豊洲地区 開発整備に係る合意」同「確認」 ・各地権者は条例に基づく調査と対策を実施、完了届を提出する
11月	東京ガス、「汚染拡散防止計画書」を東京都環境局に提出
<2003> 平成15年4月	東京都が、条例の上乗せ対策を東京ガス等に要請
<2005> 平成17年5月	「豊洲地区用地の汚染土壌の処理に関する確認書」
9月	東京ガス、「汚染拡散防止計画書」に対策を追加して再提出
<2007> 平成19年3月	東京ガス、「汚染拡散防止措置 完了届書」提出 ※都環境確保条例上の手続きを完了(約100億円)
4月	東京都は専門家会議を設置
<2008> 平成20年	東京都は、市場用地としての安全性をより高いレベルで確保するために、 専門家会議の提言に基づき法令を上回る10mメッシュの詳細調査を実施
<2009> 平成21年2月	「豊洲新市場整備方針」策定 東京都は専門家会議、技術会議の検討を受けて土壌汚染対策を確定
2月～	東京都が実施する土壌汚染対策費用の一部負担を要請
<2011> 平成23年1月～	東京都が実施する土壌汚染対策費用の一部負担を前提とした協議
3月	「豊洲地区用地の土壌汚染対策の費用負担に関する協定書」 東京ガス等の一部負担合意(78億円) 土地売買契約締結 559億円(東京ガス32億円、東京ガス豊洲開発527億円)

交渉 I

交渉 II

交渉 III

私 の 経 歴	
平成12年 8月	福祉局長に就任
平成14年 7月	知事本部長に就任 (その後、知事本局長に 組織名変更)
平成17年 7月	東京都退職
平成17年 9月	東京ガスに就職 (平成24年3月の退職まで、 分散型エネルギーの普及・ 啓発を担当)

(注)

交渉 I 平成10～13年 豊洲への移転受入れを求める交渉

交渉 II 平成15～17年 条例を上乗せした土壌汚染対策を求める交渉

交渉 III 平成23年 東京都が実施した土壌汚染対策経費の一部負担を求める交渉